

夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜 2017 実施概要

【概要】

平成 29 年 7 月 19 日から 8 月 20 日まで、地域医療に関心のある医療系学生（医学生・看護学生など）や研修医を対象とし、高浜の地域や海を楽しみながら地域医療実習を体験できる企画を、地元観光協会や若狭和田ライフセーバーの協力のもと、高浜町が福井大学医学部に設立している寄附講座「地域プライマリケア講座」と高浜町の共催で開催しました。

【開催日程】

- ① 7月19日（水）～ 7月23日（日）
 - ② 7月26日（水）～ 7月30日（日）
 - ③ 8月 2日（水）～ 8月 6日（日）
 - ④ 8月 8日（火）～ 8月13日（日）
 - ⑤ 8月16日（水）～ 8月20日（日）
- ※④コースのみ5泊6日



【参加者】

▼医師 1 名、看護師 1 名、医学生 17 名、看護学生 4 名、薬学生 1 名 計 24 名

【実習の主な内容】

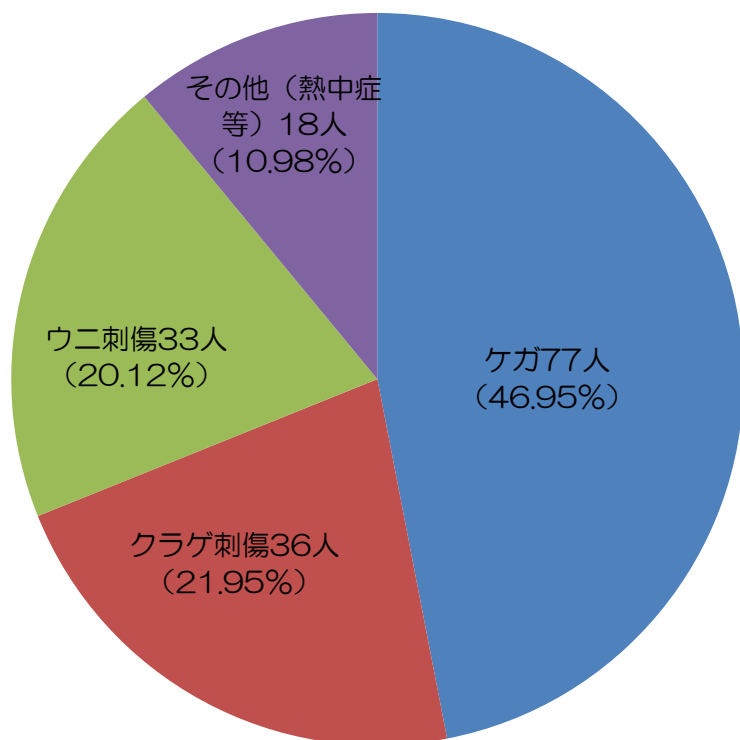
曜日	内容	備考
水曜日	オリエンテーション・地域医療、家庭医療レクチャー	井階友貴先生とディスカッション
木・金曜日	外来診療、訪問診療、訪問看護、訪問介護、通所介護、ケアマネ同行など、地域での医療・保健・福祉の体験実習	和田診療所・町内事業所
土・日曜日・祝日	救護所での救護ボランティア体験（和田診療所スタッフ指導、若狭和田ライフセービングクラブ協力）	若狭和田ビーチ救護所
フィードバック	指導医といっしょに、実習記録をもとに参加者全員でフィードバック	実習終了後／全日程（毎日）

宿泊は地元の民宿にお世話になり、地元の新鮮な料理はもちろん、空き時間には BLUE FLAG（ブルーフラッグ：※1）を取得した若狭和田ビーチのきれいな海を楽しみました。



【救護所について】

岩場で足を切った方、クラゲに刺された方、ウニのトゲが刺さった方など、164 人の患者さんが救護所を利用され、和田診療所の医師、看護師指導のもと、参加者が主体的に適切な処置を行いました。加えて、救護所にてBLSの講義も行いました。



救護所対応内訳 (計 164 人) ※救護所において、本ツアーで対応した人数のみを掲載

【参加者の「声」】

「地域医療の実習をしつつ、海も満喫することの
できる素晴らしい企画だと思う。」
「チーム医療の重要性をより一層実感した。」
「研修医の方と年代が近いからか、話すのも楽しく、
話す機会もたくさんあって良かった。」
「仲間と生活を共にし、良い友人ができた。」
「フィードバック（振り返り）を今後も続けて
いきたい。」
「将来の事を考えるのに、とても意義のある5日間
だった。」
「大学では出来ない経験ができた。」
「地域の皆さんがあたたかく、居心地がよかった。」
「救護所では、全く経験したことのない体験ばかり
で、全てがとても新鮮だった。」
「ライフセーバーと一緒に活動するという、貴重な
体験ができた。」
「高浜町が好きになった。また遊びに行きたい。」



【今後の予定】

今回も色々な方のご協力を賜り、このような地域医療体験ツアーを開催することができました。地域医療への理解の促進、地域医療・プライマリケアに必要な、患者中心の医療、医師の責任性、チーム医療についての理解を提供できたと考えます。さらに、地域医療に対するモチベーションを高め、地域医療を目指したい者を増やすとも考えられました。また、ツアーで知り合った参加者同士の関係は貴重なもので、今後もこのような交流を提供し続けたいと考えています。

和田診療所スタッフも昨年に引き続き、色々なことに気づかされ、学ぶことができました。地域にとって有益な効果があり、またその期待が年々大きくなっているように感じています。

今後も出来る限り多くの方のご意向に添えるよう、スタッフ一同頑張りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、今年のツアーも多くの方のお力添えなしには成功し得なかったという確信のもと、ここに改めて御礼の意を表したいと存じます。本当にありがとうございました。

参考

※1：BLUE FLAG（ブルーフラッグ）

世界約 50 ヶ国・約 4,000 ヶ所で取得されているビーチ・マリーナの国際認証です。取得するには、4項目33の基準が定められており、厳しい審査をクリアしたビーチ・マリーナにのみ「優れたビーチの証」として世界に認定されます。高浜では、美しい海を次の世代へ残していくために、「100年後もキレイな海を子どもたちへ」を合言葉に取り組んでいます。

若狭和田ビーチのBLUE FLAG 取得は、アジア初です。